



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

平成30年度 業務報告会

# 検査システム委員会 活動報告

2019年2月4日

検査システム委員会

委員長 藤咲 喜丈

- 今年度の事業計画
- 専門委員会、WG報告
  - ・臨床検査システム専門委員会
  - ・内視鏡部門システム専門委員会
  - ・病理・臨床細胞部門システム専門委員会
  - ・放射線治療WG
  - ・検査レポート検討WG
  - ・DICOM WG
- 来年度の事業計画

## (1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施

## (2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・発信の強化

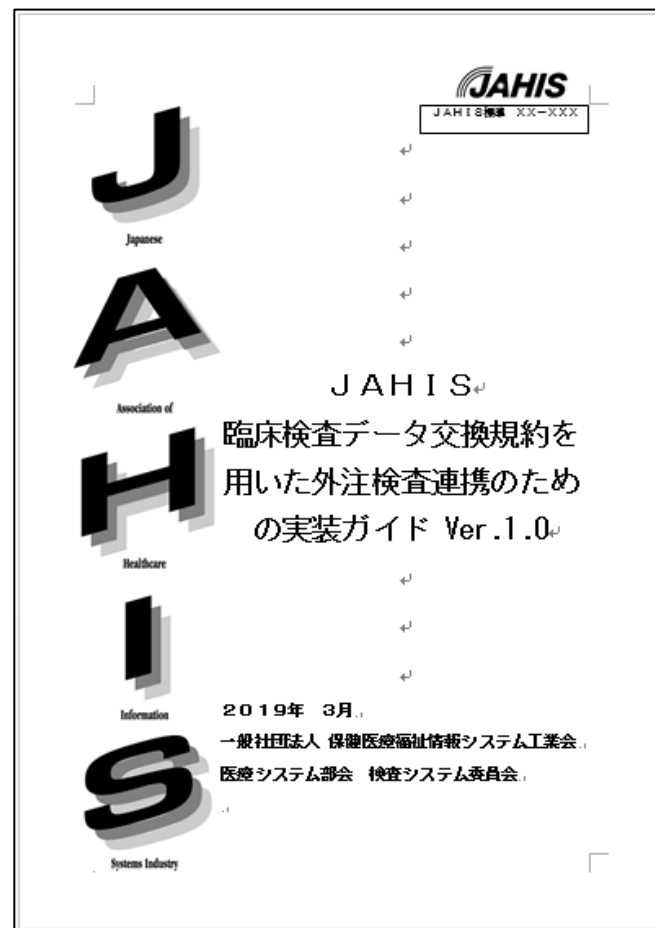
## (3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

教育事業等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供

## JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進 ①

### ●「JAHIS臨床検査データ交換規約を用いた外注検査のための実装ガイド Ver.1.0」 ※新規作業中※

病院・医院ほか保健医療関連施設  
(衛生検査所、臨床検査センターを含む)  
間で発生する、検査依託業務に関する  
課題の共通認識と解決方法・注意点等を  
討議し、施設間の相互運用性を向上を  
進めるため、技術文書の開発を進めた。  
(現在最終段階)



## JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進 ②

### ● 学会発表

日本臨床検査自動化学会第50回大会のPOCセミナーにて「JAHIS臨床検査データ交換規約を用いたPOCT実装ガイド Ver.1.0」の説明を実施

### ● 標準マスターの整備

JLAC11普及促進のための課題整理と改善協力を行う目的で、「臨床検査項目標準マスター協議会」への参加を継続

### ● 勉強会（予告）

日時 : 2019年 3月11日（月） 14:00-17:00

場所 : JAHIS会議室 1～4

タイトル : 「細菌検査室だけじゃない、検査現場担当者のための感染症入門（エンジニアもセールスも）」（仮題）

定員 : 定員80名

## 海外活動強化とJAHIS活動との連携

### • IHE-PaLM 国際会議の参加

スポンサー活動の一環として、セクレタリとしてNA(シカゴ、6月18日-20日)とEU(パリ、11月12日-14日)に出席。標準化推進活動として日本におけるコネクタソンの紹介や外注検査データ交換ガイド作成WGの活動について発表を行った。

次年度は日本（2019年5月）、NA（2019年11月）にて開催を予定。



## JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 内視鏡DICOM画像データ規約Ver.2.0（2月制定見込み）
  - － DICOM規格2018e版に対応
  - － DICOM翻訳部分の見直し
- 内視鏡レポート構造化記述規約Ver.1.0（作業中）
  - － 日本消化器内視鏡学会（JGES）との連携
  - － JED用語集に対応

## 海外活動強化とJAHIS活動との連携

- 2018年度、IHE international Endoscopy Domainにおいて、EWFの修正提案、及びEIA(Endoscopy Image Archive)の新規プロファイルがTI (Trial Implementation)版として事務局から公開される見込み。
- IHE-Jコネクタソン2018の内視鏡ドメインを支援



## JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

- JAHIS標準類の改定
  - 7月に「JAHIS病理・臨床細胞DICOM画像データ規約Ver.3.0」をDICOM-2018 b 規格を基に改定し制定
- 病理・臨床細胞関連学会・研究会での普及活動
  - JAHIS標準類を基に、①病理オーダー受付、②DICOM顕微鏡画像保存、③病理診断レポート作成までの病理ワークフローの解説、DICOM-WG26、IHE-PaLM国際動向情報共有を実施
- デジタルパソロジー技術**基準**検討会
  - 平成30年度診療報酬改定にともない、WSI機器に対するガイドラインとなる「病理診断のためのデジタルパソロジーシステム技術基準(第3版)」を作成

## 海外活動強化とJAHIS活動との連携

- IHE PaLM国際会議に参加  
 (6月ノースフィールド：米国、11月パリ：フランス)
  - ① Supplement SET (Specimen Event Tracker)
  - ② APSR2.1 (病理診断レポート)
  - ③ Digital Pathology Workflowについて継続議論中
 2019年は、5月27日～5月29日に日本(於：JAHIS)で開催予定
- DICOM WG-26国際会議に参加  
 (3月バンクーバー：カナダ、11月サンディエゴ：米国)  
 DICOMコネクタソン(スキャナベンダ、ビューアベンダ、PACSベンダによる第3回目となるWSIコネクタソンが開催)

## JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 放射線治療レポート構造化記述規約 Ver.1.0の原案作成を2019年1月末まで作業終了。現在診療文書構造化記述規約共通編（改訂中）との調整中。
- 日本放射線腫瘍学会（JASTRO）とも関係構築を図り（2018年9月）、放射線治療レポート構造化規約作成に必要なデータ項目の標準化に取り組み中。

## JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

2014年11月 新規作業項目提案の承認（共通編、個別編3種）

※2015年6月 第53回HL7セミナーにて報告（共通編・個別編2種）

2015年 8月 JAHIS診療文書構造化記述規約共通編Ver.1.0

2015年 8月 JAHIS生理機能検査レポート構造化記述規約Ver.1.0

2015年12月 JAHIS病理診断レポート構造化記述規約Ver.1.0

2016年 5月 JAHIS心臓カテーテル検査レポート構造化記述規約Ver.1.0

(2017年 8月 JAHIS地域医療連携における経過記録構造化記述規約Ver.1.0)

2017年10月 新規作業項目提案 JAHIS放射線治療レポート構造化記述規約

2018年 6月 新規作業項目提案 JAHIS内視鏡レポート構造化記述規約

2018年11月 改定A作業項目提案 JAHIS診療文書構造化記述規約共通編

※2018年11月 第68回HL7セミナーにて共通編概要と改訂方向性の報告

日本HL7協会関連

2017年12月 退院時サマリー規格 Ver.1.0

## 改訂方針

- 1) 長年の経験が盛り込まれた退院時サマリー規格の知見を反映
  - ①スキマトロン対応（C-CDA IGの叙述的記述→見やすい表形式）
  - ②CDAR2に準拠し、曖昧さを極力回避（細かい制約は個別編で規定）
- 2) 解りやすく説明を見直す（個別編の推奨構成等も記載）
- 3) 誤植対応

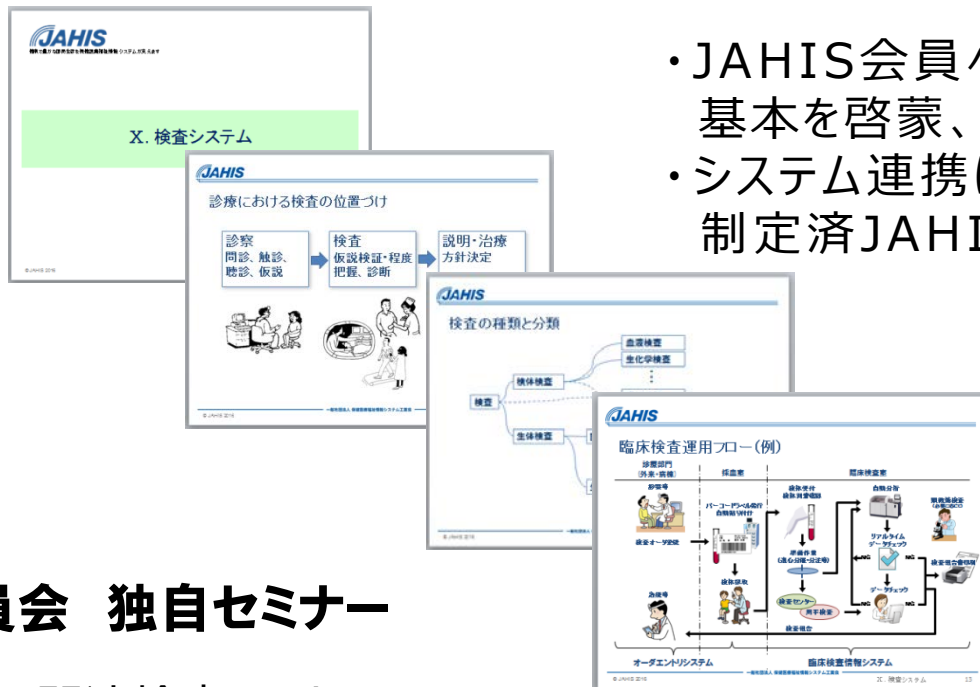
## 検査レポート検討WGの位置づけ

- 1) 共通編の維持管理
- 2) 各種個別編の情報共有 ※個別編には対象ドメインの専門知識必要

## 海外活動強化

- DICOM投票案件対応（件数は、2019年1月末現在）  
4件のCpack、3件のSupplementを検討し、医療システム部会、国際標準化委員会の審議を経て投票対応を実施
- DSC、WG-13、WG-26への参画  
DSC、WG-13（Visible Light）、WG-26（Pathology）に参画し、最新動向を収集し、情報発信を実施  
また、DSCでは、JIRA,JSRTとJapanReportとして日本の活動を報告した

### 医療情報システム入門コース 年2回への対応



- ・ JAHIS会員へ検査システムの基本を啓蒙、現場情報を紹介
- ・ システム連携に関する基本と、制定済JAHIS標準類の紹介

### 検査システム委員会 独自セミナー

- 2015年 遺伝子関連検査セミナー
- 2016年 臨床検査データの標準と統合化の時代に考慮すべきこと
- 2017年 第2回 遺伝子関連検査セミナー
- 2018年 POCTの現状と将来への期待
- 2019年 細菌検査室だけじゃない、検査現場担当者のための感染症入門 (エンジニアもセールスも) (仮題)

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会  
The Japan Society for Clinical Laboratory Automation

**JCCLS** 特定非営利活動法人  
日本臨床検査標準協議会  
JAPANESE COMMITTEE FOR CLINICAL LABORATORY STANDARDS



### 臨床検査項目標準マスター運用協議会





## (1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

引き続き、院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施

## (2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

引き続き、国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・展開強化

**※5月27日～29日 IHE-PaLM国際会議をJAHISで開催※**

## (3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

引き続き、検査システム委員会主催セミナー、教育事業等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました

Let's join us!